

第54回（平成30年）県民功労者表彰受章者

事 績 概 要

（注）受章者の年齢については、受章日（平成30年4月16日）現在で表記しています。

事 績 概 要

地方自治功勞

金森 正

四日市市 80歳



氏は、平成二年二月、地域住民の推挙により三重県議会議員に初当選して以来、平成十五年四月まで、住民の信望を一身に集め、連続四期十三年余の永きにわたり、県政の推進と県民福祉の向上に献身的な努力を重ねた。

この間、商工労働企業常任委員会委員長、環境対策特別委員会委員長、総合交通対策特別委員会委員長等の要職を歴任し、「三重県産業振興センター」の施設整備、下水道整備の推進及び合併処理浄化槽等の普及促進、都市部における交通公害防止及び混雑緩和を図る施策の推進等に大きく寄与したほか、四日市港管理組合議会議長、国土利用計画地方審議会委員、都市計画地方審議会委員、屋外広告物審議会委員、県監査委員等に就任し、各分野での的確な指針や助言を与えた。

また、平成二十一年八月から三年余にわたり衆議院議員として、優れた政治手腕と卓越した識見をもち国政を通じて県勢の伸展に尽力したほか、昭和五十年五月から十四年余にわたり四日市市議会議員として、市の発展に多大の貢献をした。

さらに、平成十七年四月から今日に至るまで、三重県バドミントン協会会長として、県内におけるアマチュアバドミントン競技の普及発展に努めた。

このように、氏の地方自治の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

教育功労

井村 正勝

津市 75歳



氏は、平成十三年から平成二十一年までの八年間にわたり、三重県教育委員会委員長及び委員として教育行政に携わり、学校教育の充実、スポーツの振興、生涯学習の推進に尽力し、本県の教育水準の向上と文化の振興に寄与した。

この間、多様で特色ある学校づくりを目指し、県立高等学校の一層の魅力化・特色化を進めるため、「県立高等学校再編活性化基本計画」の策定に積極的に参画した。また、より良い学校づくりを組織的かつ継続的に進めるため、「三重県型学校経営品質」を導入し、その定着と拡充に大きく貢献した。平成十九年度には、次代を担う子どもたちを取り巻く環境変化から生じた新たな課題に対応するため、「三重県教育振興ビジョン第四次推進計画」の策定に尽力した。

さらに、「第十四回全国スポーツ・レクリエーション祭」の実施にあたっては、三重県実行委員会顧問として多くの種目別大会の開催を支援し、県民の生涯スポーツに対する意識の向上に寄与し、同祭の成功に貢献するとともに、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録にあたっては、関係市町村及び奈良県、和歌山県との協働のもと、その実現に尽力した。

このように、氏の教育の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

文化功労

宮田 正和

伊賀市 85歳



氏は、清新真剣かつ風土に根ざした俳風が高く評価され、昭和五十年に、全国的な俳壇の登竜門である「角川俳句賞」を県内で初めて受賞し、現在に至るまで最前線で意欲的な創作活動を行うとともに、昭和五十五年には、その俳風の普及を目的として「山繭(やままゆ)俳句会」を立ち上げ、その主宰者として、三十八年の永きにわたって、同会の活動をリードしている。氏の尽力により、同会は、活動範囲を東京や九州等にも広げ、会員数も三百人を超えるまでに成長した。会員の中からは、「角川俳句賞」や「俳人協会新人賞」、「三重県文化賞」等の受賞者を多数輩出しており、後進の育成においても多大な功績をあげている。これらの功績が高く評価され、氏は、平成二十八年に公益社団法人俳人協会の名誉会員に選任されるなど、本県を代表する俳人としての地位を確立した。

また、結社の枠を越えて作品の水準向上に協力する基盤を確立することを目的として、三重県俳句協会の設立に発起人として力を尽くし、設立後は、理事、副会長、会長の要職を歴任するなど、本県俳句文化の普及並びに向上に大きく貢献した。

このように、氏の文化の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

社会福祉功勞

土方 義道

菰野町 72歳



氏は、昭和五十九年八月に保護司に就任し、以来三十三年余の永きにわたり、厚い信望と優れた人格をもって、犯罪をした者や非行のある少年の改善更生及び社会復帰並びに地域における犯罪予防活動等に多大な貢献をしている。また、氏の地域社会の理解と協力を得ながらの処遇活動は他の保護司の模範となっている。

この間、平成十八年から三重保護司会会長に就任し、地域の関係機関や協力組織と共同して充実した犯罪予防活動を展開するなど、同会の発展に寄与している。平成二十六年には三重県保護司会連合会会長に就任し、会の中心として優れたリーダーシップを発揮し、献身的に同連合会の充実に尽力している。さらに、同年から中部地方保護司連盟副会長として、県内にとどまらず中部地方全体へ活動の場を広げ、保護司組織の機能の強化と活動の充実に多大な貢献をしている。

また、氏は平成十八年から薬物乱用防止指導員として、薬物乱用により保護観察になった者の更生に尽力するとともに、地域における麻薬・覚せい剤等撲滅運動を積極的に推進し、その普及に努め、安心・安全なまちづくりと薬物乱用者の再犯防止に寄与している。

このように、氏の社会福祉の向上に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

商工業功労

廣澤 浩一

伊賀市 71歳



氏は、昭和四十年四月から組紐業に従事し、平成五年三月には伝統工芸士として認定を受けるなど、伊賀くみひもの技術向上に対し日々研鑽を積んでいる。

また、昭和五十五年五月に三重県組紐協同組合理事に就任以来、副理事長として十年、理事長として八年余にわたり同組合の要職を歴任してきた。理事長退任後も顧問、理事として、伝統的工芸品の振興に多大な貢献を果たしている。

特に、地元の小学生を対象とした組紐体験教室や地元高等学校における組紐実技指導など、地域の伝統的工芸品への愛着意識の醸成を図るとともに、若手組合員を集めた勉強会を行うなど、後進の育成に尽力してきた。平成十年の「伊賀くみひもセンター」刷新の際には、創作展を実施するなどの情報発信を行った。

さらに、平成十三年七月から現在に至るまで、一般社団法人伊賀上野観光協会の会長として、海外における忍者ショーの実施や地元の宿泊施設及び鉄道会社と連携した外国人向け観光体験プランの共同企画を行うなど、幅広い活動を通して地域の魅力発信に取り組んでいる。

このように、氏の伝統的工芸品の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

農業功労

仲森 廣光

熊野市 90歳



氏は、平成二年九月に熊野市農業委員会の委員に就任し、平成十一年九月からは会長として十八年余の永きにわたり、卓越した見識と積極的な行動力をもって、地域の農業者の声を政策に反映させることに尽力するとともに、農地転用の適正化と農地の荒廃防止、自立農家の育成に尽力するなど、地域の農政の発展と農業振興に多大な貢献をした。

この間、三重県農業会議の議員にも就任し、平成二十年九月からは会長、平成二十六年九月からは顧問として、県内の農業委員会に対して適切な指導、助言を行い、農業生産力の向上及び農家の安定経営を持続するための指導的な役割を担った。このほか、農地の有効利用、担い手への農地集積等においても大きな役割を果たした。

また、平成二十年十月からは全国農業会議所の理事として、政府・政党に対し、農政の政策提言等を積極的に行い、農業分野に幅広く尽力した。

このように、氏の農業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

地域活動功労

上野 達彦

津市 70歳



氏は、三重大学で教育と研究に携わる中で、刑法学の立場から「命」と「地域」の大切さを提唱し、平成十年十月「三重県青少年健全育成審議会」会長に就任して以来、今日に至るまで、十九年余の永きにわたり、本県の「安全で安心なまちづくり」の分野において、献身的な努力を重ね県行政を牽引した。

この間、「三重県安全安心まちづくり協働推進懇話会」の座長として、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けた方策について検討を行い、「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例」の必要性と地域社会が相互に連携し、主体的に地域づくりに取り組む重要性を唱え、条例の制定に向けて提言を行うとともに、条例制定後も自らの責務として普及啓発に取り組むなど多大な貢献をした。

さらに、平成十六年十月、「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議」の会長に就任し、卓越した見識と情熱で円滑な会議運営に尽力したほか、地道な研究を重ね、豊かな学識と柔軟な発想を生かして、意識づくりや人材育成など、県が行う施策に対して積極的に助言を与えている。

このように、氏の「安全で安心なまちづくり」に尽力し、県行政の推進に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

交通安全功労

金谷 勇

明和町 79歳



氏は、平成三年、松阪地区地域交通安全活動推進委員として委嘱を受け、松阪地区地域交通安全活動推進委員協議会の副会長を経て、平成十七年に会長に就任した。同年には三重県地域交通安全活動推進委員協議会副会長にも就任、平成二十五年からは会長としてその卓越した指導力と交通安全に対する熱意をもって、地域の交通安全活動に献身的な努力を重ねている。

この間、繁華街における夜間の路上駐車排除パトロール、街頭キャンペーン活動等に尽力し、優れたリーダーシップを発揮して交通安全パレード等の交通安全対策を企画実施するなど、地域の交通安全思想の普及高揚、交通事故防止に多大な貢献をしている。

特に、三重県地域交通安全活動推進委員協議会会長に就任して以降は、県内各地区の地域交通安全活動推進委員に対する教育活動に取り組むとともに、推進委員の活動力の向上を図り、県内の交通安全活動の振興に尽力している。

このように、氏の交通安全の普及活動を通じて、交通事故防止に寄与した功績はまことに顕著である。

